

校内研究計画

甲州市立塩山中学校

1 学校課題 (主題設定を含む)

2 研究主題 「心豊かに、生きる力をはぐくむ教育の研究」

～学ぶ意欲を持ち、共に学び合う集団の育成を意図して～

3 主題設定の理由

今年度は、「新指導要領」「特別な教科道德」の施行を意識した教育活動を展開しながら、生徒の人間関係形成能力を伸ばさせ、学力向上へと繋げていくことを主眼に置いた研究の実践を継続・深化を図ることを柱として取り組んでいくことが不可欠であると考え。継続において大切なことは、その実践を行うまでのプロセスの検証をしっかりと行い、手法を吟味し、実践、そして、実践後の変容をしっかりと分析し、次の手立てを模索するPDCAサイクルとそのスパイラル化が重要である。多忙の中、おろそかにしがちである細部を、効率的・効果的に、確認しながら行っていくことが研究を深める上で重要であると考え。

本校における教育活動の特徴である学級や学年という枠に捕らわれず、生徒一人一人に対して、多面的に目を配りながら、一人の生徒の学力向上をめざすために、教師集団のぶれない教育実践と、チームワークが学校力の向上につながることは明白であり、これまで同様教職員の中に築かれた塩中教育の根本である、生徒のために教師集団が一丸となって「チーム塩中」として研究を進めていきたい。

☆ 本校の研究の柱と新指導要領との関わり…

- (1) 意欲的に学ぶ集団づくり ⇔ 主体的・対話的で深い学び
- (2) 授業づくり、授業改善 ⇔ 生きて働く知識・技能の習得
- (3) 学びの主体となる生徒の「質的」向上 ⇔ 学びに向かう力・人間性の涵養

4 研究の柱となる具体的内容と方法

昨年度までの継続研究をもとに、一つ一つの研究を深化させていく。

新指導要領施行を前に、本校の教育課程を見直しながら対応を模索する。

- (1) 意欲的に学ぶ集団づくりに関わって
 - ① 学びの場として、基本となる授業規律の確立。
 - ② 「hyper-QU」の実施と分析・活用。
 - ③ 「話し合いのルール」を生徒会と連携して確立。
 - ④ 学級集団におけるルールとリレーションの育成。
 - ⑤ 「主体的・対話的で深い学び」次期指導要領の改訂を意識した授業の展開。
- (2) 授業づくり、授業改善に関わって
 - ① 各教科、授業の構造化を再度見直し、より深い学習づくりを研究する。
 - ② 各種検査、試験の分析による生徒の実態把握と指導方法の改善。
 - ③ 各種検査、試験の分析から課題をとらえ、「ステップアップ授業（一人一実践）」の授業研究に活かす。
 - ④ 「hyper-QU」による集団分析→集団の型に合った授業を仕組む。
 - ⑤ 実技教科における指導目標の明確化。
 - ⑥ 評価方法の検討。
 - ⑦ 「家庭教育・子育て」Q&A、家庭学習の手引きの活用。
 - ⑧ 家庭学習の充実のために定期的にチェック。
- (3) 学びの主体となる生徒の「質的」向上に関わって
 - ① 学力向上への取り組み（家庭学習の習慣化とステップアップノートの活用）。
 - ② 道德教育の充実による生徒の情操の育成。
 - ③ 特別な教科道德施行を踏まえ、道德の教育課程、資料等の適正化を研究する。
 - ④ 国語力向上の取り組みの継続。

(4) 「主体的・対話的で深い学び」を意識した研究授業の実施

- ① 今までの研究を生かした研究授業を実践。
- ② 新指導要領をふまえ全員が一人一実践として、「ステップアップ授業」の展開。

5 研究計画

平成30年度校内研究計画

研究テーマ		教科領域		担当者・学年等	授業予定日	TC要請					
①授業づくり、授業改善に関わる授業実践		深澤 歩未 (社会)		3学年	6月20日 (水)	あり					
②意欲的に学ぶ集団づくりに関わる授業実践		桐原 詩歩 (道徳)		1学年	10月24日 (水)	あり					
③学びの主体となる生徒の質的向上に関わる授業実践		益田 宗士 (学級活動)		2学年	12月5日 (水)	あり					
回	月	日	曜	内 容		指導主事	SUT	備考	一人一実践予定		
1	4	3	火	第1回研究推進委員会			12国 19(1/2)社 26数				
		4	水	全体研究会①							
		6	金	学力向上プロジェクト事務局会議							
		9	月	学力向上プロジェクト研究主任会							
		10	火	NRT検査							
		11	水	知能検査							
		17	火	全国学力・学習状況調査 山梨県学力状況把握調査							
2		18	水	全体研究会② ・教科研究会							
		24	火	h-QUアンケート							
3	5	2	水	全体研究会③ ・年間計画 他			10(1/3)英 17理 24国				
		7	月	甲州市プロジェクト ・K-13法講習会							
		9	水	春季教研 教協研究部会①							
		10	木	第2回研究推進委員会							
		12	土	県春季教研							
4		16	水	全体研究会④ ・K-13法について 講習会を受けて…3-1の分析を全員で検討 →各学年実施(期間を設ける) ・NRTの結果分析と指導法の確認 ・指導案の検討①			31社				
		23	水	教協研究部会②							
4		30	水	全体研究会⑤ ・NRTによる学力の現状把握及び改善策 ・テストの分析について ・SSTとSGEについて ・指導案について ・「学びの集会」について							
		13	水	教協研究部会③							
5	6	14	木	学びの集会 3・4校時			14数 21英				
		15	金	甲州市プロジェクト【学級づくり学習会・鹿嶋真弓先生】							
		20	水	全体研究会⑥ 授業研究① グルグルエンカウンター① 評定について		○		28理			
6	7	4	水	甲州市プロジェクト【授業づくり講演会 内藤 雅人先生】			5国 12社 19数				
		11	水	全体研究会⑦ グルグルエンカウンター② ・1学期のまとめ ・新指導要領について							
7	8	1		教育課程研究協議会①			30英				
		2		教育課程研究協議会②							
		3		教育課程研究協議会③							
		8	水	教育講演会 ブロック交流① 学習会							
7		21	火	研修推進委員会③ 学力向上フォーラム2018							
		22	水	全体研究会⑧ ・教育課程遠隔報告 ・新指導要領の学習 ・指導案の検討							
9		29	水	統一授業研究会 教協研究部会⑤			27理				
		18	火	共同絵画(全学年) 「炎翼祭」							
10		19	水	秋季教研 教協研究部会⑥			4国 11社 18数				
		2	火	第1回教達検							
10	10	10	水	全体研究会⑨ グルグルエンカウンター③			11社 18数				
		11	木	第2回hyper-QUアンケート実施							
		17	水	甲州市プロジェクト【授業づくり・授業改善にかかわる学習会: 盛山隆雄先生】							
11		24	水	校内研究会⑩ ・研究授業② ・道徳教科化に向けての学習会		○					
		1	木	全体研究会⑪ ・学級活動の指導案検討 ・指導案の検討(学級活動)			1英				
11		8	木	第2回教達検			8(1/2)理 15国 29社				
		16	金	授業参観(全校道徳)							
		21	水	ブロック交流② 中学校教諭 小学校で前授業(塩山北小)							
		28	水	教協研究部会⑦							
12	12	5	水	全体研究会⑫ ・研究授業③ ・研究紀要の分担について		○	6数 13英 20理				
		7	金	甲州市プロジェクト【教育講演会: 河村茂雄先生】							
1	1	8	火	研究推進委員会④			10国 17社 24数				
		10	水	教協研究部会⑧							
		17	水	ブロック交流③(塩山北小)							
		19	金	グルグルエンカウンター④							
12		25	水	全体研究会⑬ ・新年度に向けての確認(教育課程・道徳 等)		○	31(1/2)英				
		23	水	甲州市プロジェクト【学級づくり講演会: 木村素子先生】							
13		30	水	全体研究会⑭ ・「学習の手引き」これで君も塩中生」原稿の確認			7(1/2)理 14国 21社				
		7	水	統一授業研究会 教協研究部会⑨							
15	2	14	水	冬季教研 教協研究部会⑩			21社				
		22	水	全体研究会⑮ ・今年度の研究の反省							
16		28	水	全体研究会⑯ ・来年度の方向性			28数				
3							7(1/2)英 14(1/2)理				

★K-13法(簡易版)による学級集団分析は各学年ごと実施する。